

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
保健	2	A B C D E F	1	必修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	新 高等 保健体育
使用教材等	特になし

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	1 生涯を通じる健康 (1)生涯の各段階における健康 (2)労働と健康 【知】生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにすること。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むこと。	・指導事項 1 生涯を通じる健康 (1)生涯の各段階における健康 ①思春期と健康 ②結婚生活と健康 ③加齢と健康 (2)労働と健康 ①労働災害と健康 ②働く人の健康の保持増進 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	1 生涯を通じる健康 (1)生涯の各段階における健康 (2)労働と健康 【知】生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むもうとしている。
2	2 健康を支える環境づくり (1)環境と健康 (2)食品と健康 (3)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知】人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにすること。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むこと。	2 健康を支える環境づくり (1)環境と健康 ①環境汚染と健康 ②環境と健康に関わる対策 ③環境衛生に関わる活動 (2)食品と健康 ①食品の安全性 ②食品衛生に関わる活動 (3)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ①我が国の保健・医療制度 ②地域の保健・医療機関の活用 ③医薬品の制度とその活用 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	2 健康を支える環境づくり (1)環境と健康 (2)食品と健康 (3)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知】人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを理解している。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むもうとしている。
3	2 健康を支える環境づくり (4)様々な保健活動や社会的対策 (5)健康に関する環境づくりと社会参加 【知】我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であること。 【思】健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにすること。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むこと。	2 健康を支える環境づくり (4)様々な保健活動や社会的対策 (5)健康に関する環境づくりと社会参加 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	2 健康を支える環境づくり (4)様々な保健活動や社会的対策 (5)健康に関する環境づくりと社会参加 【知】我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思】健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【態】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育むもうとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。